

# 採血を受けられる方へ

## 静脈血採血の検査に伴う注意点

採血は血液を調べることで体の内部環境の状態を知ることができる検査です。

体に針を刺すことで、いくつかの好ましくない症状が起こりえます。

### 起こりうる症状と対処法

#### 1. 消毒薬のアルコールが皮膚に合わなくて赤くなる。

＜対処法＞アルコール過敏のある方は違う消毒方法で行います。

#### 2. 針の刺入で神経に触れることで、激痛が起こる。

＜対処法＞針はすぐに抜きます。その後、痛みやしびれが残ることがあり、注意が必要です。

#### 3. 針の刺入による内出血が起こる。

＜対処法＞採血後は5分ほど、押さえてください。高齢の方、ワーファリン等（抗凝固剤）を飲んでいる方は、特にしっかり押さえることが大切です。

#### 4. 気分が悪くなる。

＜対処法＞すぐに横になり休むことで、症状は治まります。

#### 5. 刺入部位の組織損傷で血液やリンパの流れが悪くなり、むくみが起こる。

＜対処法＞乳がんの手術後、麻痺のある腕側では採血をしないようにします。

#### 6. 針の刺入部が赤くなる。（感染）

＜対処法＞採血を清潔操作で行うことで防ぎます。

**\* 十分注意しながら採血を致しますが、気になる症状があれば必ず申し出てください。その他、疑問に感じることや聞きたいことがあれば遠慮なく、医療スタッフに質問してください。**